



特定非営利活動法人 S T スポット横浜  
令和 6 年度 事業報告書

令和 7 年 3 月 31 日

## ごあいさつ

S T スポット横浜は「アートと市民社会の新しい関係づくりを推進するとともに、アートの持つ力を現代社会に活かし、より豊かな市民社会を創出すること」を目的として活動を続けています。

小劇場・S T スポットを基軸にした創造環境事業部では、利用団体との丁寧なサポートを継続して続けてきたことなどにより、施設の総入場者数が昨年比で 2 割増となりました。自主事業では、1997 年から続くダンスショーケース『ラボ 20#24』や、ダンスと音楽での実験的なプログラムといった独自の創造発信に取り組みました。

地域連携事業部では、子ども、地域、福祉の三つの柱となる事業を中心として、横浜・神奈川地域におけるさまざまなアートの可能性と向き合い、事業間の連携を深めました。子どもの体験格差に着目し、新たに地域の子どもの居場所でのアートプログラム実施に踏み出せたことも成果のひとつです。

近隣を見渡すと、1975 年開館の神奈川県民ホールが再整備のため 3 月末をもって無期限休館に入ったり、2004 年から民間アートスペースを維持してきた BankART1929 の活動が区切りを迎えたり、文化環境も刻々と変化を続けています。

1987 年にスタートした私たちの活動も持ちこたえるだけではなく、新たなチャレンジも視野に入れたいとさまざまな作戦を練っているところです。

引き続き、みなさま方からの暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

理事長 小川智紀

## 目 次

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部	2
1. S T スポットの施設運営	2
2. 自主事業	4
教育普及・交流促進事業／地域連携事業部	6
1. 子ども事業	6
2. 地域事業	9
3. 福祉事業	12
事務局	16
2024（令和 6）年度財務諸表	17

## 施設運営・創造発信事業／創造環境事業部

### 1. S T スポットの施設運営

利用者の安全と使いやすさを重視し、コミュニケーションをとりながら、劇場利用のサポートを行いました。

【表1：S T スポット年間開館状況】

項目	今年度	昨年度	備考
開館日	327 日*	323 日*	
稼動日	234 日	192 日	
稼動率	71.6%	59.4% 稼動日 ÷ 開館日	
プログラム数	37 本	44 本	
利用団体数	30 団体	39 団体	

【表2：S T スポット年間利用状況】

項目	今年度	昨年度	備考
S T スポット総入場者数	4819 人*	3916 人*	
利用団体観客数	2547 人*	1815 人*	
利用団体スタッフ数	1320 人	1081 人	
事業観客数	534 人*	598 人*	
事業スタッフ数	418 人	422 人	

【表3：S T スポット月別開館状況】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日*	25	26	29	29	27	25	30	28	26	26	25	31	327
稼動日	18	13	24	15	22	16	16	22	23	22	23	20	234
稼動率	72.0	50.0	82.8	51.7	81.5	64.0	53.3	78.6	88.5	84.6	92.0	64.5	71.6
一般利用	1	2	3	2	2	1	3	2	3	3	1	3	26
自主事業他	2	0	1	1	1	1	2	0	0	1	0	2	11
プログラム数	3	2	4	3	3	2	5	2	3	4	1	5	37

【表4：S T スポット稼動日内訳（種目別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般利用	3	13	23	10	13	9	10	7	20	7	4	13	132
自主事業他	15	0	1	5	9	7	6	5	3	15	19	7	102
稼動日	18	13	24	15	22	16	16	12	23	22	23	20	234

【表5：S T スポット稼動日内訳（ジャンル別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
演劇	2	5	17	9	12	3	7	7	18	6	4	11	101
ダンス	1	0	0	0	3	5	6	1	0	0	5	1	22
音楽	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

稽古	7	8	5	2	5	5	1	14	4	14	13	3	81
美術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講座・WS	6	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3	12
その他	2	0	1	4	2	2	1	0	1	1	1	2	17
稼働日	18	13	24	15	22	16	16	22	23	22	23	20	234

【表6：利用団体一覧】

団体名	タイトル	利用期間
加茂慶太郎	加茂慶太郎・宮崎玲奈 『実験ラボ 2024年4月10日』	4月10日（水）
演劇集団すてつぶ。	朧朧模糊模糊 -ろうろうもこもこ-	5月1日（水）、5月7日（火）～9日（木）※稽古利用 5月10日（金）～12日（日）
劇団 Syrup	劇団 Syrup・劇団厄介 合同公演『新しい元号は〇〇であります。』『劇団厄介の死神』	4月28日（日）、5月16日（木）、5月24日（金）※稽古利用 5月25日（土）、5月26日（日）
劇団ねこのバロン	大人の友情実験室	5月29日（水）～30日（木）、6月4日（火）～6日（木）※稽古利用 6月13日（木）～16日（日）
飯塚大周	ガザ・モノローグ 2023	6月17日（月）～18日（火）
一般社団法人 BOOKSO	ほろびて『音埜淳の凄まじくボンヤリした人生』	6月4日（火）※下見、6月19日（水）※稽古利用 6月20日（木）～30日（日）
劇団 KYs	居眠りしてんじゃねーよ	6月1日（土）、7月4日（木）※稽古利用 7月5日（金）～7日（日）
劇団月ノ子夢遊ビ	nightmare	7月11日（木）～15日（月・祝）
TeXi's	ファジー「ours」	8月13日（火）、8月17日（土）※稽古利用 8月19日（月）～25日（日）
相模舞台同盟	SAGABU IN WONDERLAND ~アリストと不思議の国のはちゃめちゃワルブルギス~	8月27日（火）～28日（水）
山澤憲治	かけがえのないーである私たち	9月20日（金）～22日（日）
たくさんの犬	紐	8月29日（木）※下見、9月18日（水）、9月24日（火）※稽古利用 10月4日（金）～6日（日）
劇団かえる	モノクロイド	6月9日（日）、8月25日（日）※下見、9月1日（日）、9月15日（日）※稽古利用 10月11日（金）～14日（月・祝）
たまご	から	7月2日（火）、10月3日（木）※下見 10月25日（金）～月26日（土）
劇団ペリートホームズ	Prince ♡ Newstory	10月19日（土）※下見 11月2日（土）～3日（日）
演劇企画ティータイム	黎明にかけるティータイム	10月19日（土）※下見 11月16日（土）～17日（日）
東京タンバリン	絆されて	4月30日（火）、9月12日（木）※下見 11月28日（木）～12月3日（火）
抗原劇場	「熊野ヒッチハイク・ガイド」上映会	12月4日（水）～9日（月）
y/n	ゲイ・モノローグ	12月10日（火）～16日（月）
相模舞台同盟	Allegorical ZERO～寓話的零から始まる物語～	12月21日（土）※稽古利用 12月26日（木）～27日（金）、1月4日（土）～5日（日）
文化コモンズ研究会	文化の生態系を考える	1月11日（土）
演劇工房テアトルポム	評決	1月23日（木）～26日（日）
劇団月のしづく	美少年	2月13日（木）～16日（日）
こぬかーめ	ある写真家の記録	12月18日（水）※下見 3月6日（木）～9日（日）

深谷晃成	バザール 44°C 『青少年のための純恋愛入門』	2月11日（火）※下見 3月17日（月）～23日（日）
山澤憲治	『能登』一学生がみた「今」と「魅力」	3月27日（木）

※利用期間には特に記載がない場合は仕込み利用日を含む公演・イベント利用期間

※利用団体以外の劇場下見での来館件数 5 件

## 2. 自主事業

自主事業は、シリーズ企画として継続しているダンスショーケース『ラボ 20#24』を、共催公演は音楽家との協働企画としてダンスと音楽との相関関係を検証する実験的なプログラム『Super Dance! Super Music!!』を開催しました。どちらも若手アーティストを中心に参加いただき、独自の身体表現を追求する機会となりました。

### 1. 主催事業



#### 『ラボ 20#24』

最終発表：2025年2月27日（木）～3月1日（土）全4回

中間発表：2024年11月23日（土）全1回

キュレーター：康本雅子 参加アーティスト：AtannT 天野朝陽 遠藤七海 オフィスマウンテン 動員：122人



©前澤秀登

振付家の育成のためのダンスショーケースプログラム。振付家・ダンサーの康本雅子氏をキュレーターに迎え、4組のアーティストに参加いただきました。

参加アーティストはキュレーターに伴走してもらいながら、他アーティストや観客とも対話の場を持つことで視野を広く持ち、自身の課題や問い合わせながら、より手を伸ばした表現に挑戦することができました。

### 2. 共催・提携・協力事業



#### (1) 協力 『演劇の手前／ダンスの手前』 オープンワークショップ 2024

2024年4月8日（月）9日（火）15日（月）16日（火）22日（月）23日（火）

全18回 参加者数 106人

#### (2) 共催 『Super Dance! Super Music!! vol. 1』

2024年4月20日（土）全2回 動員 57人

#### (3) 協力 『Six Moons～MUSIC PAUSE vol. 2～』

2024年6月12日（水）全1回 動員 15人

#### (4) 協力 『部屋（壁・床・天井）と演劇』

2024年8月3日（土）全1回 動員 32人

#### (5) 提携 『無駄な時間の記録#4』

2024年9月7日（土）・9月8日（日）全2回 動員 54人



©松本和幸



(6) **協力** 『見えない矢印を巡る旅 2024～上演に向けた3つのイベント～』

2024年10月2日（水）・10月3日（木） 全2回 動員23人

(7) **共催** 『Super Dance! Super Music!! vol. 2』

2024年10月27日（日） 全2回 動員27人

【表7：主催事業一覧】

公演名	期間	入場料（円）	回数（回）	動員（人）	出演者のべ（人）	スタッフのべ（人）
『ラボ 20#24』	最終発表2月27日（木）～3月1日（土） 中間発表11月23日（土）	2,500～3,500	5	206	184	44
迂回スケーブン／篠田千明オープン スタジオ	3月29日（土）3月30日（日）	1,500～2,000	2	14	35	0

【表8：共催事業一覧】

公演名	期間	入場料（円）	回数（回）	動員（人）	出演者のべ（人）	スタッフのべ（人）
SuperDance! SuperMusic!! vol. 1	4月20日（土）	2,000～3,000	2	57	26	6
無駄な時間の記録#4	9月7日（土）・8日（日）	2,000～3,500	2	54	36	29
SuperDance! SuperMusic!! vol. 2	10月27日（日）	2,000～3,000	2	27	6	5

【表9：協力事業一覧】

公演名	期間	入場料（円）	回数（回）	動員（人）	出演者のべ（人）	スタッフのべ（人）
『演劇の手前／ダンスの手前』オ ープンワークショップ2024	4月8日（月）9日（火）15日 （月）16日（火）22日（月） 23日（火）	1,500～6,500	18	106	18	0
Six Moons～MUSIC PAUSE vol. 2～	6月12日（水）	500～2,000	1	15	3	1
部屋（壁・床・天井）と演劇	8月3日（土）	2,000	1	32	3	12
見えない矢印を巡る旅 2024～上 演に向けた3つのイベント～	10月2日（火）・3日（水）	1,000～3,000	2	23	10	0

## 教育普及・交流促進事業／地域連携事業部

### 1. 子ども事業

#### I. 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局の運営

横浜市にぎわいスポーツ文化局、横浜市教育委員会事務局、横浜市芸術文化振興財団と協働して、文化施設・芸術団体と市内の小・中・義務教育・特別支援学校が連携して芸術文化の取組みを行うために「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設置し、事務局代表団体として事業の進行管理を行いました。そのうち、1校については、令和6年度文化庁「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業芸術家の派遣事業」を活用し、横浜市の事業と連動して実施しました。



##### 1. 学校と文化施設・芸術団体の連携による基盤整備

令和6年度横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局の運営の一環として、学校において子どもたちが創造的な体験ができるプログラムを、コーディネーター、アーティストおよび教師が協力して実施できるように具体的な調整を行い、適宜学校やアーティストからの相談を受けました。また、過去の実績の蓄積や、広報（記者発表、ニュースレター発行、独自ドメイン取得によるホームページ運営）を行いました。あわせて令和7年度実施に向けての要項・募集案内を作成し、横浜市内の市立小・中・義務教育・特別支援学校に広報を行いました。

このほか、教師および文化芸術関係者等のためのワークショップとして実施した内容は、次のとおりです。

##### （1）教師のためのワークショップ（音楽）

日時：2024年7月31日、10:30～12:00

会場：横浜市立川上北小学校・体育館

コーディネーター：S T スポット横浜

講師：富田真以子（打楽器奏者）、アシスタント：戸崎可梨、谷本麻実

横浜市特別支援教育研究会の研修として実施。横浜市立小学校の個別支援学級の教員48人が参加。障害のある子どもたちとの音楽を介したコミュニケーションについて、学びを深めました。

##### （2）教師のためのワークショップ（伝統芸能）

日時：2025年1月31日、16:30～18:00

会場：横浜にぎわい座 のげシャーレ

コーディネーター：横浜市芸術文化振興財団 ACY・経営企画グループ

講師：カニササレアヤコ（雅楽芸人）

授業づくり講座の一環として実施。横浜市立小学校等の教員24人が参加。教科書に掲載されている「雅楽」について、解説を行いました。ふだん、なかなか触れることの少ない雅楽について、映像等も見ながら、理解を深めることができました。終了後は、講師への質問をする人

も多く、積極的な姿勢が伺えました。

（3）教師のためのワークショップ（美術）

日時：2025年1月26日、15:00～16:30

会場：横浜美術館 平面室・展示室

コーディネーター：横浜美術館教育普及グループ

講師：横浜美術館教育普及グループ

図画工作科美術科研修として、横浜市内の小・中・義務教育・特別支援学校の主に図画工作科、美術科の教員 31人が参加。再開館した横浜美術館の展示を活用し、対話による鑑賞の方法をグループに分かれて体験しました。

（4）文化芸術関係者のためのワークショップ「コーディネーター会議」

日時：2024年7月11日、10:00～12:00

会場：港北区民文化センター水キーホール・音楽ルーム

学校でのプログラムを担当するコーディネーターが集まり、情報交換を行う「コーディネーター会議」を実施。総勢 31人が集まり、学校の先生とのより良い協働のあり方や、アーティストとのプログラム開発について、情報交換やディスカッションを行いました。

## 2. 学校プログラムの実施

令和 6 年度は、飯田北いちょう小学校、篠原小学校、上菅田特別支援学校の 3 校にてコーディネートを行いました。

【表 10：学校プログラムの対象校数等】

校種	今年度	昨年度
小学校	114 校	120 校
中学校	7 校	12 校
義務教育学校	1 校	2 校
特別支援学校	8 校	10 校
合計（校数）	130 校	144 校
合計（人数）	13,218 人	13,554 人

【表 11：学校プログラムのジャンル・型別実施校数】

ジャンル	体験型	鑑賞型	合計
音楽	14 校	30 校	44 校
美術	19 校	0 校	19 校
演劇	3 校	0 校	3 校
ダンス	17 校	3 校	20 校
伝統芸能	19 校	25 校	44 校
合計	72 校	58 校	130 校

【表 12 : コーディネーター一覧】

地域の文化施設 (27 団体)	アートNPOなど、民間の芸術団体 (10 団体)
青葉区民文化センター フィリアホール	Media Global
泉区民文化センター テアトルフォンテ	NPO法人子どもに音楽を
栄区民文化センター リリス	NPO法人横浜こどものひろば
神奈川区民文化センター かなっくホール	NPO法人芸術家と子どもたち
港南区民文化センター ひまわりの郷	ART LAB OVA
旭区民文化センター サンハート	民族歌舞団荒馬座
鶴見区民文化センター サルビアホール	アートの時間
戸塚区民文化センター さくらプラザ	NPO法人Offsite Dance Project
緑区民文化センター みどりアートパーク	認定NPO法人あっちこっち
磯子区民文化センター 杉田劇場	NPO法人横浜シティオペラ
瀬谷区民文化センター あじさいプラザ	
港北区民文化センター ミズキーホール	
大倉山記念館 急な坂スタジオ 久良岐能舞台 長浜ホール	
吉野町市民プラザ 岩間市民プラザ 横浜市民ギャラリー	
横浜市民ギャラリーあざみ野 横浜美術館 横浜にぎわい座	
横浜赤レンガ倉庫1号館 横浜みなとみらいホール 横浜能楽堂	
関内ホール 大佛次郎記念館	
事務局構成団体 (2 団体)	
	公益財団法人芸術文化振興財団 経営企画・ACYグループ
	認定NPO法人STスポット横浜

【表 13 : 直接コーディネートを行った学校一覧】

学校名	学年	ジャンル	アーティスト	日程	回数	参加者数
飯田北いちょう 小学校	5、6 年生	ダンス	モテギミユ (ダンサー、振付家)	2024 年 9 月 12、19、24 日	3	41
篠原小学校	4 年生	ダンス	井田亜彩実 (ダンサー、振付家)	2024 年 11 月 11、12、12 月 9 日	3	120
南高等学校付属 中学校	1 年生	演劇	大道朋奈 (俳優)	2024 年 12 月 17、18、20 日	3	152
上菅田特別支援学校	高 1~3 年生	ダンス・美術・音楽	米澤一平 (タップダンサー)	2025 年 1 月 17、31 日、2 月 14 日	3	12

## II. 横浜市子どもの文化体験推進事業みちくさアート事務局の運営



横浜市にぎわいスポーツ文化局、横浜市芸術文化振興財団と協働し、子どもたちの体験格差是正を目的とした横浜市子どもの文化体験推進事業 (みちくさアート) の事務局を運営しました。初年度である令和 6 年度は、放課後の子どもたちの居場所である放課後キッズクラブにおいて、夏休み期間中に 42 施設 72 回、文化体験を行うことができました。横浜市内のアートNPOや文化施設をナビゲーターとし、多様なジャンルの体験を行うことができました。放課後キッズクラブ以外にも、モデル事業として、社会的養護が必要な子どもたちの居場所である横浜市中央児童相談所、不登校状態の子どもたちの居場所であるハートフル南台においても文化体験事業を行いました。さまざまな状況にある子どもたちとの取り組みの必要性を感じました。

【表 14 : 直接コーディネートを行った施設一覧】

施設名	対象	ジャンル	アーティスト	日程	回数	参加者数
横浜市中央児童相談所	小学生、中学 生、高校生	音楽	西井夕紀子 (音楽家、作曲 家)	2024 年 10 月 18、21 日、2025 年 3 月 6 日	3	40

## 2. 地域事業

市民やN P O団体等が主体となって、市内の地域資源を活用し、地域住民と協力して継続的な事業を行っていく文化芸術活動の支援を行いました。市全域でのネットワークづくりやコミュニティの活性化を図るため、横浜市にぎわいスポーツ文化局と協働してヨコハマアートサイト事務局を構成し、事業を進行しました。



### ・地域文化団体の助成金交付をはじめとしたサポート

ヨコハマアートサイト事務局として、助成金の交付対象事業を選考（申請 101 件中 26 件を採択※うち 1 件取下）し、事業実施前・実施後におけるヒアリングを行うとともに、各団体の活動状況の視察を行いました。また、助成金交付を行い（助成総額：14,000,000 円）、参加団体の事業運営に関する相談に応じるなど、さまざまなかたちでサポートを行いました。

また、採択された事業などのネットワークづくりを支援するため、キックオフミーティングや、アートと地域のかかわりについて考える・交流する場「ヨコハマアートサイトラウンジ」を 4 回開催し、動画やテキストにてウェブサイト上に公開しました。また助成事業の報告会を実施しました。

これらに並行する形で、横浜の地域文化を考える・応援するための冊子「季刊ヨコハマアートサイト」を発刊し、横浜市内の多様な文化のかたちを伝えました。4 冊（3 カ月に 1 回刊行）し、地域文化のサポートを目指しました。

【表 15：ヨコハマアートサイト 2024 助成対象事業一覧】

団体名	事業名	実施区
アーティストネットワーク+コンパス	会社から地域へまるごとギャラリー2024	金沢区
OUTBACK プロジェクト	OUTBACK アクターズスクール	神奈川区
任意団体アオキカク	2024「路上の身体祭典 H!」新人 H ソケリッサ！寿町プロジェクト	中区、西区
あっぱれフェスタ実行委員会	第 11 回あっぱれフェスタ	旭区
一般社団法人 oowa	oowa アートプロジェクト	西区
オリオリオルオル	おりおり！おるおる！2024	緑区、青葉区
紙芝居文化推進協議会	第 24 回手づくり紙芝居コンクール	西区
ことぶき「てがみ」プロジェクト実行委員会	ことぶき「てがみ」プロジェクト	中区
しましまのおんがくたい	あおばりあふりーコンサート 2024	青葉区
STAND Still	性暴力サバイバービジュアルボイス	中区、青葉区、南区
特定非営利活動法人スペースナナ	のんびりアートデイ	青葉区
認定特定非営利活動法人スローレーベル	SLOW CIRCUS FESTA	中区
NPO 法人声物園	みんなの横浜朗読フェスティバル	神奈川区
NPO 法人タネとスプーン	虹色畠クラブ 畠でアートプログラム	港北区
ノーマルスクリーン	Love Ball 30 -1994 年の国際エイズ会議とアート-	中区
ひよこの会	視覚障害児と一緒に作り出すインビジブルアートの開催	中区、西区
ほる実行委員会	ほってみる	横浜市内全域
NPO 法人街カフェ大倉山ミエル	子どもと大人が自分と地域のために「何ができるか」を試すプロジェクト：アート？	港北区
まちなか立寄楽団	まちなか立寄楽団の「たちよってつくるコンサート 2024」	中区

特定非営利活動法人みんなのダンスフィールド	インクルーシブダンスワークショップ「のはらハミドリ」第 6 期 緑区
一般社団法人山の音楽舎	山の音楽舎アートでつながる 2024 in YOKOHAMA 西区
横浜寿町フリーコンサート実行委員会	寿町フリーコンサート 中区
NPO 法人横浜こどものひろば	多世代交流拠点 まちかど劇場プロジェクト 港南区
一般社団法人横浜若葉町計画	まちなかギャラリー2024 中区
ROJIURArt 実行委員会	「ロジウラート！」アートでつながれ！ 都筑区

【表 16 : ヨコハマアートサイトラウンジ・事業報告会一覧】

回	企画名	テーマ	開催日	主な出演者（敬称略）	会場
42	当事者として表現すること～日韓の精神障害と演劇～※YPAAMとの協働	精神障害当事者の表現の場について	2024 年 12 月 13 日	中村マミコ (OUTBACK プロジェクト共同代表) 、ソン・ソンヨン (MAD PRESENCE 代表)	横浜市開港記念会館
43	シアワセな関係が生まれる場	障害者の芸術文化活動のあり方について	2025 年 1 月 10 日	鈴木励滋 (あっぱれフェスタ実行委員会) 、加藤甫 (Studio oowa)	横浜市旭区民文化センター サンハート
44	サウンドウォーク & トーク「寿町を音で歩く、考える。」	音から地域や生活との関わりを考えてみる	2025 年 2 月 26 日	岩崎 佐和 (まちなか立寄楽団) 、船崎 葉子 (ことぶき『てがみ』プロジェクト) 、マルコス・フェルナンデス (音楽家)	横浜市寿町健康福祉交流センター
45	文化的な活動を地域でつづけるために	文化活動の継続、続け方について	2025 年 3 月 10 日	高城芳之 (NPO 法人アクションサポート横浜) 、渡真利紘一 (独立行政法人 福祉医療機構)	横浜市開港記念会館
報告会	ヨコハマアートサイト 2024 報告会	ヨコハマアートサイト 2024 参加事業の報告	2025 年 3 月 20 日	ヨコハマアートサイト 2024 参加団体	戸塚区総合庁舎 3 階 多目的スペース大

【表 17 : 季刊ヨコハマアートサイト一覧】

号	特集	発行月	主に取り上げた事業や場所
39	地図の凹凸を歩きなおす	2024 年 6 月	NPO 法人鶴見川流域ネットワーキング「流域で考えること」、blanClass+神村恵「身ひとつで生きる」、暗渠マニアックス「暗橋で楽しむ横浜さんぽ」、「ヨコハマアートサイト 2023 報告会」、地域文化の風景「青少年の日常にある文化に気づく」（尾崎 万里奈）、EduArt 「OUR LIVES NOW, OUR LIVES TOMORROW— 今を切り取り、未来を描く子どもたちのアート作品展」、アメリカ山公園歴史パネル展「古き横浜の青春～ブルー娘のアルバムから～」、瀬谷区民文化センターあじさいプラザ「アート・フェスタ・瀬谷」、横浜人形の家「ひとはなぜ “ひとがた” をつくるのか」
40	声からみえてくる	2024 年 9 月	ひよこの会「インビジブルアートでつなぐ」、トトリネコ「生活に自分らしさを取り戻すアート」、NPO 法人声物園「朗読を通して人と人が会う場所」、「ヨコハマアートサイト 2024 について」、地域文化の風景「地域とアートの媒介者：「共助」の動きをめぐる新たな期待」（小林 瑠音）、OE ! yokohama「鶴見川の生きもの写真展」、横浜寿町フリーコンサート実行委員会「寿町フリーコンサート」、しましまのおんがくたい「あおばりあふりーコンサート」、ノーマルスクリーン「Love Positive 30 - 1994 年の国際エイズ会議とアート」
41	道端で見つけた	2024 年 12 月	アーティストネットワーク+コンパス「会社から地域へ！まるごとギャラリー」、NPO 法人 街カフェ大倉山ミエル「マイナス 1 歳～101 歳のアートな居場所」、ヨコハマサウンドスケーププロジェクト「ヨコハマのまちの音で遊ぶ」、ヨコハマアートサイトラウンジ vol. 42「当事者として表現すること～日韓の精神障害と演劇～ レポート」、地域文化の風景「アートとまちの交点から アートやアーティストを「特別な存在」から「身近な存在」へ」（小原光洋）、NPO 法人みんなのダンスフィールド「のはらハミドリ」、一般社団法人山の音楽舎「ベイビーシアター『nido』」、NPO 法人スローレーベル「SLOW CIRCUS FESTA 2024」、STANDStill「性暴力サバイバービジュアルボイス写真展」
42	アートでつくる新しいカンケイ	2025 年 3 月	あっぱれフェスタ実行委員会「第 11 回あっぱれフェスタ」、一般社団法人 oowa「oowa アートプロジェクト」、オリオリオルオル「おりおり！おるおる！2024」、ヨコハマ

アートサイトラウンジ vol. 43「シアワセな関係が生まれる場 レポート」、地域文化の風景「音楽は元気のもと」（小野明男）、任意団体アオキカク「横浜美術館前パフォーマンス『Super Stranger』」、NPO 法人スペースナナ「れいんぼー&のんびりアートディイ展」、NPO 法人横浜こどものひろば「まちかど劇場 VOL. 3 人形劇をつくってみよう」、NPO 法人タネとスプーン「麦畑で大地を感じるワークショップ」

YOKOHAMA ART SITE Yokohama Art Site

039 2024

YOKOHAMA ART SITE Yokohama Art Site

040 2024

YOKOHAMA ART SITE Yokohama Art Site

041 2025

YOKOHAMA ART SITE Yokohama Art Site

042 2025

### 3. 福祉事業

#### I. 「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター」の運営



##### 1. 相談対応

障害者やその家族、障害福祉サービス事業者等から芸術文化活動に関する相談を、メール、電話、面会などで 124 件受け付けました。またウェブサイトやリーフレットを作成し、支援センターおよび相談窓口の周知を行いました。発表や交流の場を求める当事者の声や、福祉施設における創作活動に関する相談対応や、芸術文化団体が企画する障害者を対象とした芸術文化活動への助言、障害者のアート作品の活用を考える企業への情報提供など、さまざまな分野において関心が高まっていることを感じました。対応時に提供した情報から、具体的な活動に結びついたという相談者からの報告もありました。



##### 2. 芸術文化活動を支援する人材育成事業

###### （1）障がい者の文化芸術を支援するコーディネーターの養成

「ともにいること、表現すること」をテーマに、主に障害福祉関係者を対象とした勉強会を 3 回開催しました。1 回は収録した映像を申込者に配信するオンライン開催、2 回は県内の文化施設を会場に対面開催し、のべ 87 人が参加しました。

演劇ワークショップをきっかけにケアを考える取組みをしているゲストの話をうかがったり、音楽ワークショップを体験したりする時間をとおして、参加者それぞれの所属における障害者と芸術文化のかかわりを見つめ直す機会になっていました。対面開催した回では、参加者同士の交流も生まれ、情報交換の場にもなっていました。また、オンラインで開催した回は、遠方の人が視聴をしたり、文化施設の職員研修として活用したりといった参加の広がりもありました。

###### （2）ワークショップ実施事業

神奈川県内の障害福祉サービス事業所等に 8 か所に対してのべ 22 回アーティストを派遣し、施設の希望に応じてダンスや音楽、美術の芸術文化体験活動を実施しました。昨年度から引き続き実施する 3 施設のほか、実施を希望する施設を公募で募り、34 件あった応募の中から、4 施設を選出して実施しました。施設を利用する障害者だけではなく、その保護者やきょうだい、外国につながりを持つ子どもたちなど、さまざまな背景を持つ人たちが参加し、表現を共有する場が生まれました。

各実施施設とは、地域とのつながりや施設内の活動への活用など、実施後の展開についても相談しながら内容を検討しました。施設が所在する自治体の担当課や文化施設と情報交換をし、実施の様子を見学していただくなど取組みの共有を行うことで、連携体制の構築を試みました。実施施設の 1 つでは、実施のあいだの期間に職員による芸術活動の時間を設けるなど、自主的な活動につながる展開も見られました。

### 3. 関係者のネットワークづくり

#### （1）協力委員会

障害者の芸術文化活動に造詣の深い専門家に協力委員会を設置しました。会は対面とオンラインと計 2 回開催し、運営等について助言をいただきました。

#### （2）文化施設職員との座談会

県内の美術館やホールなど公立文化施設に呼びかけ、情報交換などを行う座談会を 1 回実施しました。神奈川芸術劇場の主催公演「花と龍」における、鑑賞サポートとリラックスパフォーマンスの要素を盛り込んだ回「やさしい鑑賞回」を鑑賞し、年齢や障がいの有無に関わらず、さまざまな人が一緒に楽しめる公演のあり方について、意見交換をしました。また、障がい者を含むさまざまな人が訪れる場所としての文化施設の役割や、日ごろの工夫、悩み事などを参加者間で共有しました。

### 4. 事業の成果の発表

#### （1）成果報告会「地域とともに考える障がい福祉と芸術文化」

今年度の支援センターの活動報告を神奈川県民ホール大会議室で行いました。特にワークショップ実施事業について、公募から実施につながった 3 施設の事例を実施施設の職員とアーティストをゲストに招き紹介しました。改めて取組みで感じたことや、障害者と芸術活動を行う意義、今後の展望などを共有しました。また、神奈川県が取り組む障害者の芸術文化活動に関する 2 つの事業についても紹介しました。会の後半では参加者同士の交流の時間を設け、情報交換の機会とした。

### 5. 情報収集・発信、成果報告とりまとめ

ウェブサイトを作成し、センター主催の催し等の発信を行い、周知につとめました。また、「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターだより」として、県内のイベントや公募の情報をウェブサイトやメーリングリストにて 8 回配信しました。

年度末には報告書を 3,500 部作成し、県内の障害福祉サービス事業所等に配布、ウェブサイトにも掲出しました。

#### ■講演・講座等の実績

- ・川崎市「パラアート委託事業」審査員
- ・川崎市「インクルーシブ音楽プロジェクト いろいろねいろ 2024」ワークショップ視察（2024 年 12 月 9 日）
- ・「うみのもりの玉手箱 4」関連トークイベント「つくる・つたえる・つながるサミット」（主催：千葉県、南関東・甲信障害者アートサポートセンター（社会福祉法人みぬま福祉会）/2025

年 1 月 21 日)

・「つながる！ひろがる！パラアート・ミーティング」(主催：公益財団法人 川崎市文化財団  
/2025 年 3 月 19 日)

【表 18：相談事業】

## ■相談方法

	面会	電話	メール	オンライン	問い合わせ フォーム	その他	合計
相談件数	24 件	52 件	33 件	1 件	13 件	1 件	124 件

## ■居住地別

	横浜	川崎	相模原	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西	県外	不明	合計
相談件数	42 件	19 件	10 件	10 件	7 件	4 件	10 件	5 件	16 件	1 件	124 件

## ■相談内容

	鑑賞	創造	発表	交流・連携	調査研究・保存	権利保護	人材育成	情報発信	その他	合計
相談件数	3 件	35 件	32 件	31 件	2 件	5 件	6 件	9 件	1 件	124 件

【表 19：ワークショップ実施事業一覧】

	施設名	施設種別	障害種別	ジャンル	アーティスト	日程	回数	人数
1	大和市障害福祉センター第2松風園	障害福祉サービス事業所	知的	ダンス	上村なおか(ダンサー・振付家)	2024 年 12 月 17 日、18 日、2025 年 2 月 25 日	3	43
2	ほうあん第二しおん	障害福祉サービス事業所	身体	ダンス	北川結(ダンサー・振付家・イラストレーター)	2025 年 1 月 16 日、2 月 20 日、3 月 11 日	3	85
3	川崎市北部地域生活支援センター ゆりあす	地域活動支援センター	精神	演劇	中村マミコ(OUTBACK アクターズスクール 校長)	2025 年 1 月 20 日、2 月 17 日、3 月 17 日	3	31
4	多機能型事業所 LEO	障害児通所支援事業所	身体	美術	ドウイ(造形ユニット)	2024 年 12 月 26 日	1	5
5	児童発達支援センター アグネス園	障害児通所支援事業所	身体	美術	原良介(画家)	2024 年 9 月 6 日、9 日、11 日	3	41
6	地域相談支援センター さらん	相談支援事業所	知的	美術	Art Lab Ova(アーティストユニット)	2024 年 7 月 6 日、8 月 20 日、9 月 21 日	3	30
7	発達支援センター リエール	障害福祉サービス事業所	知的	美術	ドウイ(造形ユニット)	2024 年 9 月 26 日、10 月 3 日、10 日	3	23
8	湘南希望の郷ケアセンター	障害福祉サービス事業所	身体	美術	ドウイ(造形ユニット)	2024 年 9 月 26 日、10 月 3 日、10 日	3	26

【表 20：勉強会、報告会】

	企画名	日程	主な主演者(敬称略)	テーマ	人数	会場
1	ケアをめぐるあれこれ	2024 年 9 月 20 日	花崎攝(シアター・プラクティショナー)、宮下美穂(特定非営利活動法人アートフル・アクション)	演劇ワークショップを通してケアを考える実践についてお話を伺った。	12	横浜市港北区民文化センター ミズキーホール
2	音楽から生まれる、ともにいる場	2024 年 10 月 11 日	西井夕紀子(作曲家)	参加者も音楽ワークショップを体験し、表現する	14	海老名市文化会館

					豊かさに触れる機会とした。
3	障がいのある人とともにいること	2024年12月2日～16日	田中 みわ子（東日本国際大学健康福祉学部 教授）	障害学の観点から障がいのある人の表現を研究分野としている講師をお招きし、障がいのある人とともにいることについて考える時間とした。	61 オンライン配信
4	成果報告会「地域とともに考える障がい福祉と芸術文化」	2025年3月12日	(1) 坂井田 美帆（大和市障害福祉センター 第2松風園）、上村 なおか（ダンサー・振付家）、吉澤 宏次（ほうあん第二しおん）、北川 結（ダンサー・振付家・イラストレーター）、石井 美樹（北部地域生活支援センターゆりあす）、なぎー（北部地域生活支援センターゆりあす）、中村 マミコ（OUTBACK アクターズスクール 校長）(2) 神奈川県共生推進本部室、神奈川芸術文化財団	今年度の事業報告をするとともに、ワークショップ実施事業のうち3事例の紹介と、神奈川県が取り組む障害者の芸術文化活動に関する事業についてお話をいただいた	22 神奈川県民ホール

【表 21：文化施設職員との座談会】

企画名	日程	テーマ	人数	会場
1 さまざまな人がいっしょに楽しめる公演とは	2025年2月19日	KAAT 神奈川芸術劇場の主催公演「花と龍」における、鑑賞サポートとリラックスパフォーマンスの要素を盛り込んだ回「やさしい鑑賞回」を鑑賞し、年齢や障がいの有無に関わらず、さまざまな人が一緒に楽しめる公演のあり方について、意見交換した	7	神奈川芸術劇場および横浜市開港記念会館

## 事務局

法人事務局として、部門の統括を行うとともに、広報宣伝などを行いました。また、認定NPO法人化を機に開始した寄附獲得にむけての広報宣伝等を行うとともに、レクチャー・シンポジウムなどへの出演を積極的に行い、団体および事業の広報を行いました。このほか、関連分野の芸術文化機関やNPO等と、レクチャーやシンポジウム等を通じた事業連携、事務局運営支援を行い、ネットワークの拡充に取り組みました。

【表 22：レクチャー、シンポジウム等への登壇】

企画名	会場	主催等団体	日付	担当など
女子美術大学 芸術学A（パフォーミングアーツ	S T スポット	女子美術大学	2024年6月19日	小川智紀、田中真実
地域創造フェスティバルシンポジウム 「アウトリーチから改めて考える文化芸術の役割」	東京芸術劇場	一般社団法人地域創造	2024年7月30日	田中真実
ふじみ野市文化協会 視察受け入れ	S T スポット	ふじみ野市文化協会	2024年9月17日	小川智紀
アーツカウンシル・ネットワークミーティング「コーディネート」からAC-netの役割を探る	静岡県コンベンションアーツセンター・ネットワークランシップ	アーツカウンシル・ネットワークランシップ	2024年9月30日	田中真実

【表 23：事務局運営支援】

企画名	団体の目的等	主な支援内容
特定非営利活動法人アートNPOリンク	アートNPOの中間支援。全国アートNPOフォーラムの開催、障害者芸術文化活動普及支援事業の運営、調査研究	窓口支援、会計支援、広報支援
一般社団法人 associations	研究会・勉強会および関連イベントの企画運営、調査研究	窓口支援、会計支援

【表 24：事業の実施に関する事項：特定非営利活動に係る事業】

	S T スポットを中心とした芸術文化施設の運営管理	舞台芸術を中心としたアートプロジェクトの創造発信	舞台芸術を中心としたアウトリーチや教育普及、交流促進
内容	市民に開かれた劇場として、S T スポットの運営管理を行う。	アーティストと協働し、舞台芸術を中心とした創作および発信を行う。	教育、地域、福祉等の分野との協働を通して、中間支援活動を行う。
日時	通年	通年	通年
場所	横浜市	横浜市・神奈川県	横浜市・神奈川県
従事者人員	4名	4名	7名
受益対象者	主に芸術文化関係者 4,819人	主に芸術文化関係者 436人	子ども、障害者を含む一般 36,148人
支出合計額	11,757,271円	1,375,407円	83,049,926円

## 活動計算書

特定非営利活動法人S T スポット横浜

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1. 受取会費	120,000	120,000	
正会員受取会費			
2. 受取寄付金	53,000	53,000	
受取寄付金			
3. 受取助成金等	0		
受取助成金			
受取補助金・負担金	79,443,000	79,443,000	
4. 事業収益			
事業収入	3,097,755		
利用協力費	4,670,750		
受託費	9,000,000	16,768,505	
5. その他収益			
雑収入	31,781		
その他の収入	15,021		
繰入金収入	503,306	550,108	
経常収益計			96,934,613
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	24,921,709		
通勤費	1,642,396		
臨時雇賃金	651,200		
福利厚生費	4,482,046		
人件費計	31,697,351		
(2) その他経費			
諸謝金	7,626,770		
委託費	22,470,438		
助成費	13,300,000		
制作費	3,499		
消耗品費	703,110		
印刷費	3,143,948		
広報宣伝費	4,106,509		
旅費交通費	964,178		
支払手数料	67,705		
地代家賃	2,411,107		
会場借上費	305,783		
通信費	1,925,460		
会議費	1,160,862		
設備費	2,019,578		
リース料	1,176,641		
租税公課	956,539		
その他経費計	62,342,127		
事業費計		94,039,478	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	176,726		
通勤費	10,900		
退職給与操出金	1,200,000		
人件費計	1,387,626		
(2) その他経費			
諸謝金	555,500		
設備緊急対策金	200,000		
繰入金支出	503,306		
その他経費計	1,258,806		
管理費計		2,646,432	
経常費用計			96,685,910
当期経常増減額			248,703
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			248,703
前期繰越正味財産額			23,720,480
次期繰越正味財産額			23,969,183

## 財務諸表の注記

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和7年3月31日現在

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

(2) 引当金の計上基準

- ・退職給与引当金 将来の退職金支給のため、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
- ・設備緊急引当金 設備の緊急補修などに備え、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。

(3) 準備金の計上基準

- ・企画連携事業準備金 今後の事業開発に向けて、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。

### 2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	創造環境事業部	地域連携事業部	事業費計
<b>(1) 人 件 費</b>			
給 与 手 当	6,591,332	18,330,377	24,921,709
通 勤 費	450,360	1,192,036	1,642,396
臨 時 雇 賃 金	0	651,200	651,200
福 利 厚 生 費	1,182,237	3,299,809	4,482,046
人 件 費 計	8,223,929	23,473,422	31,697,351
<b>(2) そ の 他 経 費</b>			
諸 謝 金	1,211,570	6,415,200	7,626,770
委 託 費	13,855	22,456,583	22,470,438
助 成 費	0	13,300,000	13,300,000
制 作 費	0	3,499	3,499
消 耗 品 費	183,990	519,120	703,110
印 刷 費	17,440	3,126,508	3,143,948
広 報 宣 伝 費	106,509	4,000,000	4,106,509
旅 費 交 通 費	12,164	952,014	964,178
支 払 手 数 料	10,570	57,135	67,705
地 代 家 賃	0	2,411,107	2,411,107
会 場 借 上 費	17,160	288,623	305,783
通 信 費	41,617	1,883,843	1,925,460
会 議 費	589,480	571,382	1,160,862
設 備 費	1,652,616	366,962	2,019,578
リ 一 ス 料	287,100	889,541	1,176,641
租 税 公 課	364,678	591,861	956,539
そ の 他 経 費 計	4,508,749	57,833,378	62,342,127
<b>合 計</b>	<b>12,732,678</b>	<b>81,306,800</b>	<b>94,039,478</b>

### 3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途が制約された補助金等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

名称	拠出元	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
STスポット運営補助金	横浜市	0	6,100,000	6,100,000	0
芸術文化教育プログラム推進事業負担金	横浜市	0	35,440,000	35,440,000	0
地域文化サポート事業プラットフォーム負担金	横浜市	0	27,300,000	27,300,000	0
子どもの文化体験推進事業負担金	横浜市	0	10,000,000	10,000,000	0
マグカル展開促進補助金	神奈川県	0	603,000	603,000	0
<b>合計</b>		<b>0</b>	<b>79,443,000</b>	<b>79,443,000</b>	<b>0</b>

## 貸借対照表

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和7年3月31日現在

科 目	金 額 (単位:円)
<b>I 資産の部</b>	
<b>1. 流動資産</b>	
現金・預金	
現金	112,710
預金	44,348,775
現金・預金 計	<b>44,461,485</b>
その他流動資産	
未収入金	1,026,305
仮払金1	80,000
仮払金2	2,050,339
その他流動資産 計	<b>3,156,644</b>
<b>流動資産合計</b>	<b>47,618,129</b>
<b>2. 固定資産</b>	
投資その他の資産	
敷金	1,679,292
投資その他の資産 計	<b>1,679,292</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,679,292</b>
<b>資産合計</b>	<b>49,297,421</b>
<b>II 負債の部</b>	
<b>1. 流動負債</b>	
預り金	19,045
仮受金1	700,000
仮受金2	2,050,339
未払費用	1,127,183
<b>流動負債合計</b>	<b>3,896,567</b>
<b>2. 固定負債</b>	
企画連携事業準備金	1,500,000
退職給与引当金	13,876,193
設備緊急引当金	6,055,478
<b>固定負債合計</b>	<b>21,431,671</b>
<b>負債合計</b>	<b>25,328,238</b>
<b>III 正味財産の部</b>	
前期繰越正味財産	23,720,480
当期正味財産増減額	248,703
<b>正味財産合計</b>	<b>23,969,183</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>49,297,421</b>

## 財産目録

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和7年3月31日現在

科 目	金 額 (単位:円)		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金			
手許現金	112,710		
住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通	18,758,342		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	3,958,762		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	14,076,193		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	7,555,478		
未収入金			
神奈川県	603,000		
株式会社毎日新聞社	423,305		
仮払金			
つり銭	80,000		
収益事業会計への仮払支出額	2,050,339		
<b>流動資産合計</b>		<b>47,618,129</b>	
<b>2. 固定資産</b>			
投資その他の資産			
敷金			
住友信託銀行(株)	1,679,292		
<b>固定資産合計</b>		<b>1,679,292</b>	
<b>資産合計</b>			<b>49,297,421</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
預り金			
源泉所得税等	19,045		
仮受金			
受取補助金(横浜市)	700,000		
非収益事業会計からの仮受受入額	2,050,339		
未払費用			
未払消費税	318,100		
社会保険料等	809,083		
<b>流動負債合計</b>			<b>3,896,567</b>
<b>2. 固定負債</b>			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	13,876,193		
設備緊急引当金	6,055,478		
<b>固定負債合計</b>			<b>21,431,671</b>
<b>負債合計</b>			<b>25,328,238</b>
<b>正味財産</b>			<b>23,969,183</b>